

令和6年度 大木町小学生長縄跳び大会 ルール

- 1 チーム編成
- (1) チーム編成は公民館単位とする。
* 公民館（子ども・育成会）の合併チーム可
 - (2) 選手の内、跳び役は町内在住又は町内の小学校に通う小学生1年生～6年生とし、2名～10名まで登録できる。（1名でも参加申込を受付ますが、その場合どこかのチームで参加いただけるように主催者で調整します）
 - (3) 選手の内、回し役は保護者（大人）2名とし、交代要員4名（監督・マネージャー含む）計6名まで登録できる。
 - (4) 他のチームとの二重登録は認めない。
- 2 競技方法
- (1) 10mの長縄を使用する。（主催者で準備）
 - (2) 競技コート、順番は、大会当日に抽選により決定する。
 - (3) ポイント制で勝敗を競います。*ポイント制とは、跳ぶ人数×回数の合計
 (例) 2人で100回跳ぶ→ 2×100 回=200ポイント
 10人で20回跳ぶ→ 10×20 回=200ポイント
 - (4) 競技は、保護者（大人）2人が綱を回し、子どもが揃って跳んだ回数をカウントする。
 - (5) チャレンジは2回。どちらか多い方を記録とする。
 - (6) チャレンジ1回ごとに跳ぶ人数は変えてよい。
- 競技開始の合図は、跳び役と回し役がコート上に全員整列したことを各コートの主審が確認し全体進行役へ合図後、全体進行役の合図によりスタートする。
 - 競技のスタートは、試合ごと全コート同時に行う。
 - 回数は、合図後に回し役が長縄を回し始め、同時に跳び役全員が跳んだらカウントが開始され、完全に跳んだ回数をカウントする。
 - カウント終了は、縄の回転が止まってしまった場合とする。
 - 交代は、ベンチ入りの選手内で自由とするが、チャレンジ開始前に実施し、主審に確認を受けること。回し役についても同様とする。
 - 跳ぶ選手は、1列とし、体の向き（方向）はどちらでも構わない。跳び方は自由。
 - 練習は、試合前に行うことができる。練習は短くしたり無しでも構わない。
 - 回し役の立ち位置はどこでもいいが、縄は10mのまま回すこと。
 - グリップを**両手**で持って回すこと。（縄を持って回さない）